

平成22年度 第2回 独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター  
受託研究審査委員会 会議の記録の概要

開催日時：平成22年5月27日 15:00～16:00

開催場所：独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター 第一会議室

出席委員名：河部 庸次郎、澤井 豊光、岡 忠之、内藤 慎二、杉原 三千代、重松 和俊、河北 和彦  
北島 久義、大木 和博、朝長 弘道、前田 和茂、下田 美穂子

【審議事項】

課題① ブリストル・マイヤーズ株式会社依頼による、

『第Ⅰ相試験（IM101034）及び第Ⅱ相試験（IM101071）に参加した被験者、並びに DMARDs 効果不十分な関節リウマチ患者を対象とした abatacept（BMS-188667）の安全性を検討する多施設共同、オープンラベル、長期（継続）投与試験（第Ⅲ相臨床試験）』

安全性報告について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

治験に関する変更について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認する

議題② ワイス株式会社依頼による、

『日本人活動性関節リウマチ患者を対象としてメトトレキサートと併用したときの ATN-103 の安全性、忍容性、薬物動態、薬力学及び有効性を評価する多施設共同、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、用量漸増、反復投与試験』

治験に関する変更について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

安全性報告について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認する

議題③ 第一三共株式会社依頼による、

『インフルエンザウイルス感染症を対象とした CS-8958（laninamivir）の第Ⅲ相試験』

治験に関する変更について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認する

議題④ 大塚製薬株式会社依頼による、

『肝性浮腫に対する OPC-41061 7.5mg の有効性を検証する多施設共同、プラセボ対照、  
二重盲検、並行群間比較試験（第Ⅲ相試験）』

安全性報告について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

治験に関する変更について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認する